



SUBARU



エコアクション21
認証・登録番号 0006212

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2020年4月～2021年3月

2020年度



千葉スバル株式会社

発行日：2021年06月30日

目 次

1. 会社概要	・ ・ ・ ・	3
2. 環境経営方針	・ ・ ・ ・	6
3. 環境経営目標及びその実績	・ ・ ・ ・	7
4. 環境経営の成果	・ ・ ・ ・	8
5. 環境経営計画の内容と取組結果の評価	・ ・ ・ ・	8
6. 環境改善活動・社会貢献活動	・ ・ ・ ・	9
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認	・ ・ ・ ・	11
8. 代表者による評価と見直し	・ ・ ・ ・	11
9. 経営におけるチャンスと課題	・ ・ ・ ・	11

1. 会社概要

(1) 事業所名

千葉スバル株式会社



(2) 所在地

千葉県千葉市美浜区新港176-2

※ 拠点については(8)『EA21対象拠点一覧』を参照

(3) 代表者氏名

代表取締役社長 三浦 剛

(4) 環境管理責任者及びE A 2 1事務局連絡先

環境管理責任者 推進事務局	取締役 管理本部本部長	間野 英雄
	構造改革推進部・安心ビジネスサポート課	高橋 克徳
	構造改革推進部・安心ビジネスサポート課	山野辺 大志
	構造改革推進部・安心ビジネスサポート課	高橋 伸一
	構造改革推進部・安心ビジネスサポート課	山下 友実子

連絡先 電話 043-243-2291
FAX 043-203-0120
U R L <http://www.chibasubaru.com/>

(5) 事業の内容

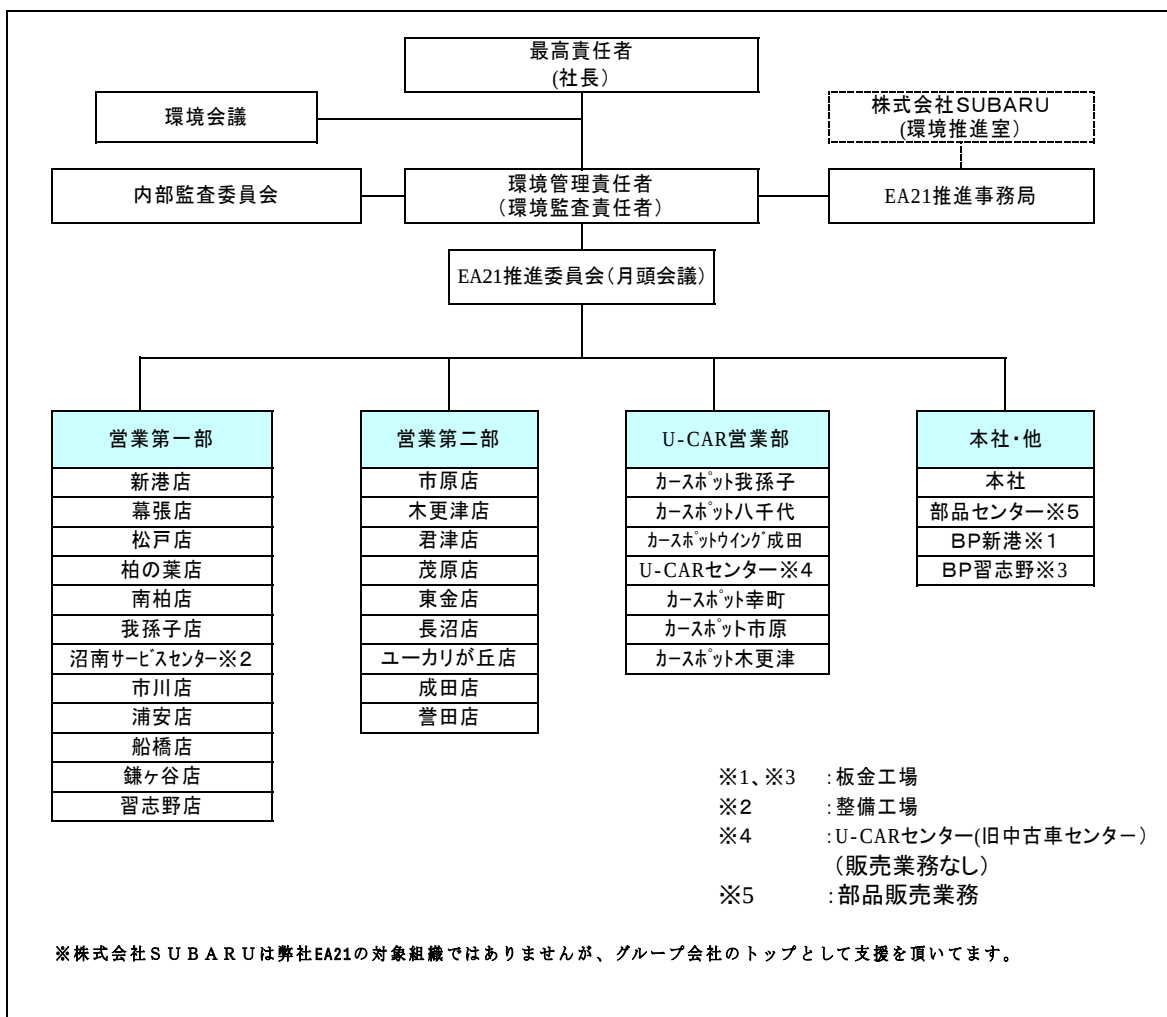
新車・中古車の販売	钣金塗装
部品・用品の販売	自動車リース
点検・整備	損害保険代理店業務

(6) 事業の規模

・売上高	251.14億円 (2020年度)
・新車販売台数	5,520台 (2020年度)
・中古車販売台数	4,358台 (2020年度)
・従業員数 (派遣・パート等含む)	525名 (2021年3月末現在)
・店舗数	
	本社 1
	新車販売 20
	中古車販売 6
	その他 5

(7) EA21推進組織図

※ 千葉スバル株式会社は全事業所・全部門にて
エコアクション21に取り組んでいます。



2021年3月現在

(8) EA21対象拠点一覧

千葉スバル株式会社は全組織・全活動を対象としてエコアクション21に取り組んでいます。

	事業所名	郵便番号	住 所	責任者	電話番号	FAX番号	面積(坪)		工場 資格	正社員				非正規	総合計	組織区分
							土地	建物		セールス	メカニック	その他	総数			
1	本社(部品センター含む)	261-0002	千葉市美浜区新港176-2	間野 英雄	043-243-2292	043-203-0120	2507.8	1014.9	—			84	84	5	89	A
2	新港店			小林 健策	043-242-5111	043-238-1350			指定	11	10	8	29	1	30	C
3	BIP新港			佐藤 剛		043-238-1351					5	2	7		7	E
4	幕張店	262-0032	千葉市花見川区幕張町5-417-35	神谷 剛	043-213-3800	043-213-3805	1001.8	458.5	指定	5	5	4	14	2	16	C
5	松戸店	271-0053	松戸市中根156-1	渡邊 正洋	047-363-6111	047-330-1187	1000.5	490.2	指定	6	5	6	17	2	19	C
6	柏の業店	277-0814	柏市正連寺406-3中央134街区4	木下 真哉	04-7133-7231	04-7140-8054	926.9	193.7	指定	9	7	6	22	1	23	C
7	南柏店	277-0856	柏市新富町1-1-11	岡本 武司	04-7147-5900	04-7147-5905	931.8	333.7	指定	5	4	6	15	2	17	C
8	我孫子店	270-1152	我孫子市寿2-25-47	小俣 啓一	04-7185-5050	04-7181-1137	317.3	121.2	—	4	1	4	9	1	10	C
9	沼南サービスセンター	277-0922	柏市大島田127	的場 浩之	04-7193-3700	04-7193-3710	223.0	109.8	指定		4	1	5	1	6	D
10	市川店	272-0015	市川市鬼高4-7-5	光山 太郎	047-378-1261	047-320-3241	1397.0	837.4	指定	8	7	6	21	1	22	C
11	浦安店	279-0002	浦安市北栄4-20-8	小野寺 猛	047-353-2111	047-390-6450	436.0	260.9	指定	5	5	4	14	1	15	C
12	船橋店	273-0001	船橋市市場2-9-19	玉垣 貴宏	047-423-6631	047-426-8320	657.8	196.9	指定	7	6	7	20	1	21	C
13	鎌ヶ谷店	273-0115	鎌ヶ谷市東道野辺5-9-19	伊沢 太郎	047-442-1211	047-498-5055	1076.9	524.0	指定	6	5	5	16	2	18	C
14	習志野店	275-0001	習志野市東習志野6-16-43	菊地 猛	047-473-2171	047-470-1455	1001.0	481.3	指定	8	6	7	21	1	22	C
15	BIP習志野			三橋 伸夫							5	3	8		8	E
16	市原店(CS市原含む)	290-0050	市原市更級2-3-1	谷 勇輝	0436-37-1221	0436-20-1121	1326.0	595.0	指定	7	6	6	19	3	22	C
17	木更津店(CS木更津含む)	292-0014	木更津市高柳952	長野 正幸	0438-23-0321	0438-20-1039	674.4	193.6	指定	7	5	5	17	1	18	C
18	君津店	299-1163	君津市笠師4-2-7	眞坂 貴吉	0439-55-7200	0439-50-1288	486.2	137.0	指定	4	4	4	12		12	C
19	茂原店	297-0074	茂原市小林1732	酒川 良教	0475-22-5271	0475-20-1090	633.3	209.4	指定	5	5	5	15	1	16	C
20	東金店	289-1327	山武市姫島141-1	下林 穂高	0475-82-7221	0475-80-1005	592.5	167.1	指定	5	5	5	15	2	17	C
21	長沼店	263-0001	千葉市稲毛区長沼原町725	松崎 陽祐	043-250-3791	043-298-9045	633.4	342.7	指定	6	5	6	17	1	18	C
22	ユーカリが丘店	285-0850	佐倉市西ユーカリが丘6-3-5	下川 久幸	043-462-5500	043-460-1575	827.7	775.2	指定	6	6	5	17	2	19	C
23	成田店	286-0046	成田市飯仲11-31	名塚 勝芳	0476-22-6811	0476-20-1043	1032.1	210.5	指定	7	6	6	19	2	21	C
24	営田店	266-0005	千葉市緑区営田町1-392-3	荒川 幸一	043-292-6601	043-226-9032	429.9	178.0	指定	5	5	5	15	2	17	C
25	カースポット我孫子	270-1177	我孫子市柴崎34-2	押切 裕之	04-7183-0611	04-7183-7282	1009.9	60.5	認証	3	1	1	5	1	6	C
26	カースポット八千代	276-0036	八千代市高津東4-7-11	廣田 芳和	047-487-0486	047-487-0520	609.1	67.6	認証	3	1	1	5	1	6	C
27	カースポットウイング成田	286-0021	成田市ウイング土屋113	向後 淳一	0476-22-8810	0476-22-8911	462.8	69.3	認証	3	1	1	5		5	C
28	U-CARセンター	284-0041	四街道市市上野346-14	富士 政聡	043-433-8505	043-433-8501	2334.8	40.7	—	8		5	13		13	A
29	カースポット幸町	261-0001	千葉市美浜区幸町2-20-31	大関 貴弘	043-243-1321	043-243-2625	754.2	176.3	—	6		5	11	1	12	B
									総合計	149	125	213	487	38	525	

※社員数は2021年3月末現在

組織区分の意味

A=オフィス業務(事務所業務)

B=オフィス業務＋自動車販売(新車、中古車)

C=オフィス業務＋自動車販売(新車、中古車)＋整備業務

D=オフィス業務＋整備業務

E=オフィス業務＋钣金塗装

(9)「認証登録の範囲(組織・活動)」

認証・登録番号:0006212

認証・登録年月日:2010年11月18日

認証・登録事業者名:千葉スバル株式会社

対象事業所名:(8)「EA21対象拠点一覧」を参照

所在地:千葉県千葉市美浜区新港176-2

事業活動内容:自動車、自動車関連部品及び付属品並びにそれらの関連物品の販売、修理、加工及び管理、自動車のリース、中古自動車の売買及び修理、油脂類の販売、電気製品、スポーツ用品、事務機器、衣料品、文具及び雑貨等の各種物品の販売、損害保険代理業及び自動車損害保険代理業並びに生命保険募集業、不動産の賃貸及び管理、原動機、原動機搭載機械器具及び同部品の販売、修理

2. 環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

当社はスバル車の販売やサービス活動の環境影響を常に考え、車が人や社会や自然とよく調和するよう、環境保全活動を進めます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO2削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行ないます。
 - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ②省資源（水使用量、紙使用量）
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥環境に配慮した車の販売、サービスを提供
 - ⑦拠点周辺の清掃を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する
5. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2014 年4月1日 制定

(2021 年4月1日 改訂)

千葉スバル株式会社

代表取締役社長 三浦 剛

3. 環境経営目標及びその実績

当社は地球環境に配慮し、CO2排出量の少ない、自然エネルギー発電の電力会社より電力を購入しています。

※項目①②③は目標比とし90.0%以下は“◎”、95.0%以下は○、100.0%以下は“△”それ以外は×とする。

※項目④⑤は達成率とし◎110%以上達成、○100%以上達成、△95%以上で少々未達、×94%以下で未達】

項 目	年 度	単 位	2019年実績 (基準年度)	2020年度目標	2020年度修正 目標	2020年度実績	評価 [対目標比率]	2021年度目標
① 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量	kWh	2,624,958	2,624,958	2,761,848	2,594,389	○	2,594,389
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(850,486)	(839,987)	(883,791)	(830,204)	93.9%	(830,204)
	ガソリン	L	123,436	122,202	125,300	80,038	◎	80,027
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(280,618)	(283,509)	(290,696)	(185,688)	63.9%	(185,663)
	灯油	L	640	634	658	737	×	733
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(1,594)	(1,579)	(1,638)	(1,836)	112.1%	(1,825)
	軽油	L	19,677	19,480	21,691	17,487	◎	17,484
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(50,767)	(50,258)	(55,963)	(45,116)	80.6%	(45,109)
	LPG	kg	35,241	35,421	45,399	28,574	◎	28,574
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(56,738)	(57,028)	(73,092)	(46,004)	62.9%	(46,004)
	都市ガス	m ³	208,138	208,138	235,661	213,263	○	213,263
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(464,148)	(464,148)	(525,524)	(475,576)	90.5%	(475,576)
【二酸化炭素(CO2)排出量合計】		kg-CO2	1,704,351	1,696,508	1,830,705	1,584,426	◎	1,584,382
							86.5%	
②水使用量の削減		m ³	18,523	18,338	19,446	17,545	○	16,431
							90.2%	
③産業廃棄物排出量の削減		t	688	681	688	817	×	806
							118.8%	
④化学物質管理の推進 (PRTR法、VOC規制対応)			使用量管理	使用量管理	使用量管理	使用量管理	使用量管理	使用量管理
⑤ 環境事業に 配慮を 推進	a車検カバー率:80.0%	%	—	80.0	80.0	73.0	×	80.0
	bエコタイヤ販売促進 ※新車装着含まず	本数	16,356	16,356	16,356	14,928	×	16,000
	c運転支援システムEyeSight 搭載車の販売促進	台数	6,089	6,089	6,089	5,520	×	—
	d e-BOXER(2021年度) 搭載車の販売促進	台数	-	-	-	-	-	1,550

※2020年度以降の環境経営目標(中期3ヵ年)は、2019年度の実績値を基準年度としたが、2021年度もコロナ禍の影響が今なお続き削減が見込めない為、二酸化炭素の排出量は、前年を超えないよう目標を設定。

【CO2排出係数 / 調整後係数】

【電気】0.32kg-CO2/kWh(平成30年度出光グリーンパワー株式会社調整後排出係数)

【ガソリン】2.32 kg-CO2/L・【灯油】2.49 kg-CO2

【軽油】2.58 kg-CO2/L・【LPG】1.61 kg-CO2/kg 【都市ガス】2.23 kgCO2/m³

車検カバー率の向上

- ・新車への代替え促進することで環境に優しい車の拡大に努めました。
- ・車検入庫促進し、定期的な部品交換の推奨やケミカル用品販売によるCO2削減を行い、環境負荷低減を行いました。

エコタイヤ販売

- ・ユーザーのガソリン使用量低減も加味し、エコタイヤの推奨販売を拡大しました。
- ・タイヤ交換時および車検・点検時には、適正なタイヤ空気圧を行い、燃費向上に寄与出来る様に取り組みました。

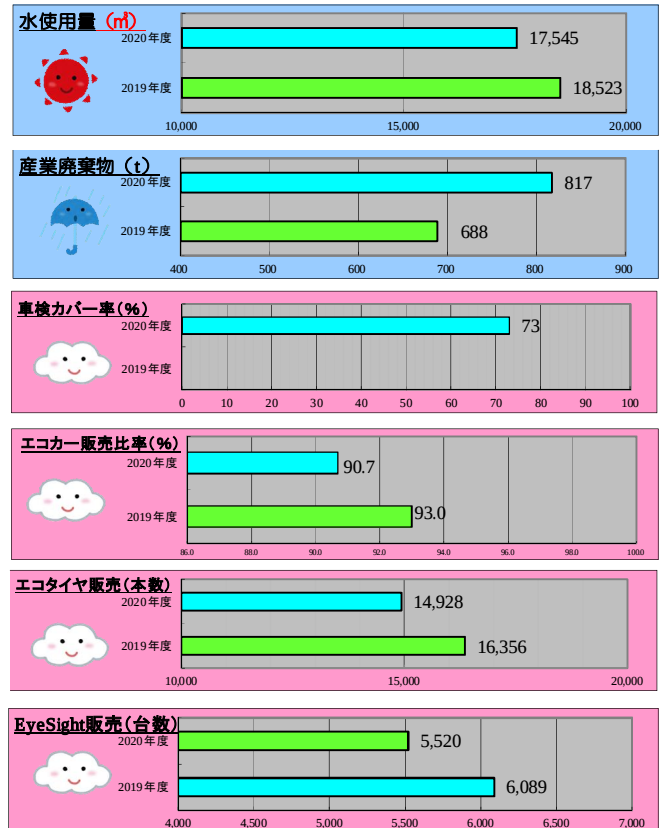
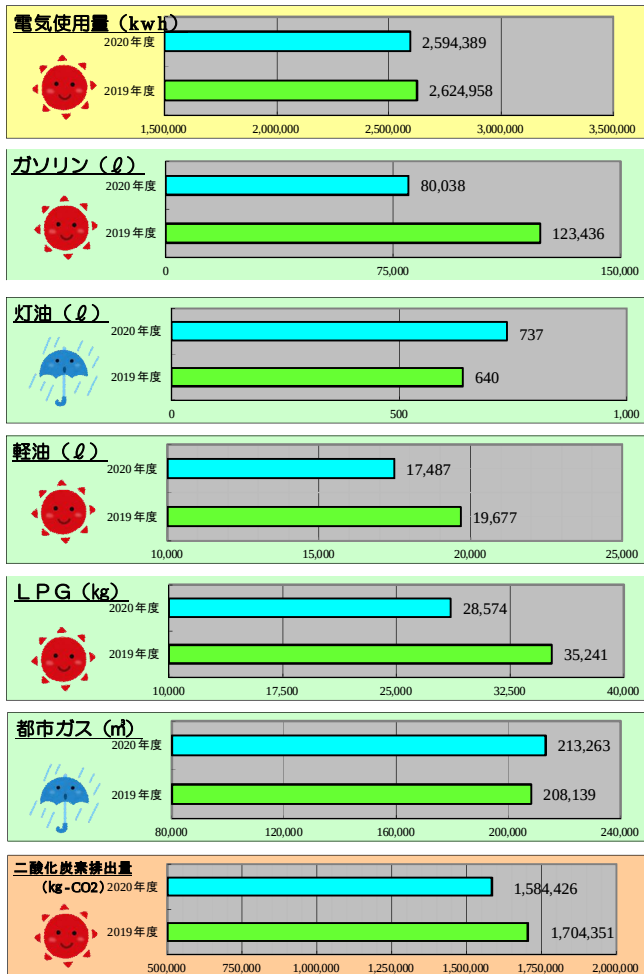
運転支援システムEyeSight 搭載車の販売

- ・交通事故削減を目的とした運転支援システム装着車を意識的に提案し環境負荷削減に繋げました。
- ・運転支援システム(追従機能)をユーザーに説明し、アクセル操作の無駄を無くす事で燃費向上に寄与する事を周知しました。

拠点のリニューアル

- ・設備修繕に対し省エネ対応設備を積極的に導入を推進して来ましたが、令和4年3月竣工の新成田店に対しては省エネ対応を加味して事業推進中。

4. 環境経営の成果



5. 環境経営計画の内容と取組結果の評価

項目	活動内容	評価及び今後の取組
① 二酸化炭素排出量の削減	1) CO2排出量の少ない自然エネルギー発電会社から購入	1) 引き続き、排出係数の少ない電気事業者からの購入を継続し、CO2削減に努める。
電気使用量の削減	1) コロナ禍によるエネルギー使用量増加の影響から、節電取組強化を継続 2) 冷暖房の室温管理の徹底（コロナ禍の換気） 3) クールビズ期間の拡大（6月～9月⇒5月～10月）	1) コロナ禍による換気の影響で、節電が非常に難しかったが適正な温度管理及び節電を実施し修正目標は達成に繋がった。 2) 今年度もコロナ禍の影響に伴う換気対策と使用量の増減に注意しつつ適正な温度管理を徹底を行う。
燃料使用量の削減	1) 効率的な燃料の使用 2) エコ運転の推進（安全運転取組み啓蒙活動） 3) 冷暖房の室温管理（ガスエアコン対策） 4) クールビズ期間の拡大（ガスエアコン対策）	1) 2020年8月に発売の新型車の受注が伸びた為にU-carにおいては展示・商品車回送のガソリン使用量が増加。一方2019年度より来店型店舗へ変更したことにより外出が減り使用量は大幅に減少したため、会社全体での使用量は減少。LPGは拠点の残業削減で目標達成。 一方、都市ガスは換気で冷暖房使用量が増加。本社の残業時間も影響。 2) エコ運転の推進は継続。 3) 2021年は工場労働環境改善を目的とした冷暖房完備に改善予定。来年度も冷暖房使用量の増減と残業時間増加に注視する。
② 水使用量の削減	1) オフィスでの節水活動の推進 2) 車両洗車時の節水	1) 節水活動の継続。漏水なども注視する。 2) 販売台数減で洗車台数も減ったが、引き続き節水の啓蒙活動を行う。
③ 産業廃棄物の削減	1) 廃棄物の分別再資源化の強化 2) 自動車廃棄物部品のリサイクル化、有価化の促進（バンパー、バッテリー、他） 3) 排出量削減の取組	1) 2020年度に汚泥回収を不定期回収より定期回収に変更した為産業廃棄物の排出量が増えた。今年度も削減活動を引き続き行い削減に努める。 3) 電子マニフェストの導入を検討し、管理に関する意識も高める。
④ 化学物質の管理推進	1) PRTR対象化学物質の使用量管理	1) PRTR制度対象事業者ではないが、一覧表にて使用量の管理を行う。
⑤ 事業における環境配慮	1) 車検カバー率の向上	1) 目標には届かなかったが引き続きカバー率向上に向け継続する。
② エコカー販売比率向上	1) 低排出ガス認定車（国土交通省規定による）の売上向上	1) コロナ禍の影響で販売台数が減少したが引き続きエコカー販売の提案を続ける
③ エコタイヤ販売推進	1) エコタイヤ販売の拡大	1) 目標未達だったが、継続し燃費向上に効果があるタイヤ販売に努める。
④ 運転支援システムEyeSight搭載車の販売促進	1) 運転支援システムEyeSight搭載車の販売促進により交通事故削減に結びつけ、結果的に環境負荷削減	1) 搭載車両の販売促進には努めたが、コロナ禍で目標は未達。2021年度は、環境性能E/G『e-Boxer』販売に目標変更し環境負荷低減を目指す。

6-1. 環境改善活動



【工場外から開いてる状態】



【工場内側から開いた状態】

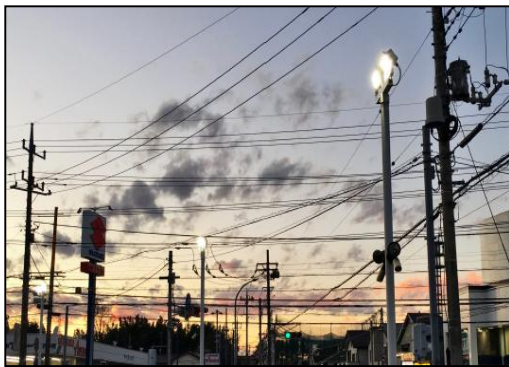


【工場内側から閉めた状態】

市原店工場入口の自動開閉シャッターへの交換

今までは工場内への車の出し入れの際、工場入口のシャッターは開けたままの状態で作業しており冷暖房の消費が増加傾向にありました。

今回、工場入口の自動開閉シャッターを取り付ける事で、冷暖房の抜け漏れが軽減され、工場内の温度が保てるようになり仕事の効率も改善されCO2の軽減に繋がりました。



野外灯の照明をLED化にしました。
実施店舗：本社、CS八千代



地球温暖化防止の一環として、環境省のクールビズ期間(5月～9月末)を10月末まで延長し、地球温暖化防止に努めた。



工場照明のLED化を行った。
実施店舗：木更津店、茂原店

6-2. 環境改善活動

2020年度は「コロナ禍」でイベント活動自粛の中、下記取り組みを実施しました。



特定非営利活動法人へ福祉車両車をSUBARU労連を通じ寄贈。今まで車いすをそのまま載せられる車両が一台も無く職員が車いす利用者を抱きかかえながら送迎車に乗せ下ろしを行っていましたが、トランスケア車寄贈により職員の負担も減り、職員皆さんの笑顔はもちろん利用者さんからも「ありがとう」と言っただけ、大変喜ばれました。



海岸に打ち寄せるゴミや海に漂うゴミというのは非常に深刻な環境問題のひとつです。緊急事態宣言の影響で中止を余儀なくされながらも千葉スバルでは定期的に社員と地元の方と一丸となりビーチクリーン「海岸の清掃活動」に参加し環境問題に取り組んでいます。



令和3年2月に、地元 高等技術専門校に教材用エンジンと教材用CVTを株式会社SUBARUを通じ寄贈いたしました。



定期的な店舗周辺の清掃活動実施しました

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規 (遵守評価 2021.6.30)

主な適用法規	要求事項	遵守状況
水質汚濁防止法	特定施設の届出(自動車自動洗浄装置等)	○
浄化槽法	浄化槽設置の届出、年1回の定期検査及び清掃の実施	○
下水道法	排水施設の設置義務、特定施設の届出	○
消防法	少量危険物貯蔵所の届出	○
フロン排出抑制法	フロン使用機器の適正管理	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、 廃棄物の表示・保管管理、マニフェストの集計・報告 電子マニフェスト導入準備中	○
騒音規制法	特定施設の届出 (コンプレッサー等)	○
振動規制法	特定施設の届出 (コンプレッサー等)	○
化管法(PRTR法)	特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録、 基準値以上の取扱量の場合に行政に報告(少量の為不要)	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
自動車NOx、PM法	自動車排出NOx及びPM排出抑制に必要な措置、届出	○
以下は千葉県、各自治体の条例		
各市環境保全条例施行規則	特定施設「圧縮機」の規制対象出力(上乗せ条例)	○
千葉県ディーゼル条例	特定自動車の粒子状物質減少装置の装着	○

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

8. 代表者による評価と見直し

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、緊急事態宣言の発令やメーカーの生産工場稼働停止と当社を取り巻く環境に大きく変化があった。
エコアクション21活動においては、緊急事態宣言に伴う短時間営業や来店型店舗への取組みが本格化したことにより、電気、ガソリン、軽油、LPG、都市ガス使用量が目標を達成し二酸化炭素排出量を大幅に抑える成果を出すことが出来た。
一方で産業廃棄物に関しては、汚泥回収の大幅なスキーム変更に伴い目標達成はならなかったが、常に問題意識を持ち、持続的に企業としての環境負荷の削減を行なうようにスピード感を持って定着、促進をしていくよう指示した。

9. 経営におけるチャンスと課題

課題としては、コロナ禍で社会生活における自動車の必要性が高まる中で、2020年度より新たに設定した事業における環境配慮項目である車検カバー率については、お客様に安心して自動車を使用していただくと同時に、自動車のベストコンディションを提供することでCO2削減に繋がる重要な課題であると捉え更なる改善に取り組む。
一方、時代の変化に迅速に対応し、「強い・さらに成長できる」企業構造へ進化するため ①先進・都市型商品への対応 ②新中併設化(独立店廃止)③ストアブランド向上 ④サービス機能の向上(サービス基軸、BP/重整備集約)を強化していく。